

平成16年度 授業点検改善表集 (修正版)

平成16年9月10日

茨城大学工学部
都市システム工学科

H16前期 授業点検改善表 目次

No.	学年 / 科目名	担当教官	ページ
	1年次		
1	応用地質学	天野一男(安原担当)	1
2	線形代数	春日一浩(呉担当)	3
3	情報処理概論	*桑原・原田	5
4	数学	三村信男	7
5	都市システム工学序論	*沼尾ほか	9
6	物理学	呉智深	11
7	図学	佐々木正祥(小柳担当)	13
	2年次		
8	数理統計	山形耕一	
9	応用数学	榊原暢久(横山担当)	15
10	建設工学演習	呉・安原・*三村	17
11	都市システム工学製図	小柳武和	19
12	土の力学	安原一哉	21
13	上下水道工学	神子直之	23
14	土木計画論	金・*山田	25
15	土木計画論演習	金・*山田	27
16	構造力学	呉智深	29
17	社会システム分析(開講せず)	金利昭	
18	水理学	三村信男	31
19	都市システム工学ゼミナール A	沼尾達弥	33
20	都市システム工学ゼミナール B	井上涼介	35
21	リモセン・環境計測	*小柳・神子・桑原	37
22	情報処理概論	*山田・村上	39
23	情報処理概論演習	*山田・村上	
	3年次		
24	計画数理	山田稔	41
25	生態学	神子直之	43
26	建築学概論	藤野・*沼尾	45
27	都市システム工学トピックス	*山田ほか	47
28	鋼構造&橋梁工学	横山功一	49
29	地震・振動工学	井上涼介	51
30	都市システム設計演習	山形・小柳・金・山田・*桑原	53
31	建設意匠	宮本・天・*沼尾	55
32	都市システム工学専門ゼミナール	福澤公夫	58
33	空間設計	小柳武和	61
34	都市システム工学実験	沼尾・横木・神子・信岡	63
35	基礎地盤工学	小峯秀雄	65
36	数学解析	中本律男(横山担当)	67
37	学外実習	小峯秀雄	
	4年次		
38	土木行政	*沼尾・横山・小峯・三上	69
39	建築構造設計	沼尾達弥	71
40	都市システム工学トピックス	(トピックス に同じ)	47
41	卒業研究	各教官	

平成16年度前期 授業点検改善表

下表(A4両面)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください)

シラバス 点検表(この表) 出席簿 成績原簿 成績評価の方法(詳細) 授業評価アンケート分析結果

記入日	平成16年 8月 19日		
授業名	応用地質学	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	天野一男		記入者名 天野一男
前後期別	:(前期:1, 後期:2)	1	
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)	3	
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)	1	

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	2
異なった理由:	技術と社会の関わりについてのレポートを提出させる予定であったが、期末試験の中で記述させた。

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	38	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	2	人
Q4: 受験者数	36	人
Q5: 不合格者数	2	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	3.0%	(%)
A	43.0%	(%)
B	28.0%	(%)
C	14.0%	(%)
D	6.0%	(%)
E	6.0%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由:	

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	2
実施していない理由:	アンケートの存在を知らなかった.

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	毎回、授業終了時にその日の授業に対する質問と感想を書かせて、次回の参考にしてきた.

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: H15年度後期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 9 月 7 日		
授業名	線形代数I	(全体:1, 分担:2)	2
担当教官名(全員)	春日一浩・西尾克義	記入者名	榊原暢久
前後期別	: (前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	: (必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態	: (講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A：授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進行した	2 少し異なった	3 かなり異なった	不明
異なった理由:			

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	途中で講義者が変更になったため		

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	不明
	出席簿	○
	成績	○
	成績評価方法	○
	レポート課題	
	レポート	
	試験	○
	試験の解答	○
	答案	○

項目B：成績と達成度

Q1: 履修者数	69	人
Q2: 取止者数	3	人
Q3: 欠試者数	1	人
Q4: 受験者数	65	人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	26.2%	(%)
A	26.2%	(%)
B	24.6%	(%)
C	15.4%	(%)
D	7.6%	(%)
E	0.0%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	2
理由:	9割以上の学生が6割以上の理解を示した。		

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	不明
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	不明
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	不明
工夫を列挙して下さい:	

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年8月26日		
授業名	情報処理概論「コンピュータリテラシ」	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	桑原祐史、原田隆郎		記入者名 原田隆郎
前後期別	:(前期:1, 後期:2)	1	教養・情報関連科目
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)	3	
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)	1+3	

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	68	人
Q2: 取止者数	3	人
Q3: 欠試者数	1	人
Q4: 受験者数	64	人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	0.0%	(%)	0名
A	32.8%	(%)	21名
B	48.4%	(%)	31名
C	17.2%	(%)	11名
D	1.6%	(%)	1名
E	0.0%	(%)	0名
合計	100.0%	(%)	64名

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由:	授業評価アンケート結果による満足度も4点以上で高いとともに、成績も8割以上がB(70点)以上である。

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	<ul style="list-style-type: none"> ・リテラシおよびワードが終了した時点で中間アンケートを実施した。 ・エクセルが終了した時点で、エクセルだけの個別の中間アンケートも実施した。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを授業時間内で実施すると回答時間が十分取れず、じっくりと回答してもらえない。 ・アンケートを授業時間外で実施すると提出を忘れてたり、適当に回答したりしてしまう。
----------------	---

項目D: . 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その 1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その 2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その 3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: H16年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その 1)

点検結果:	アンケート結果にもあったが「進度が速い」という指摘がある。これは、リテラシ、ワード、エクセル、パワーポイントの時間配分が悪かったことが原因であると思われる。
-------	--

改善点:	授業前半のリテラシとワードをコンパクトに計画し、エクセルとパワーポイントにより時間を配分できる計画に修正する。
------	---

(指摘事項その 2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 9月 4日		
授業名	数学（社会現象と微分方程式I）	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名（全員）	三村信男	記入者名	三村信男
前後期別	：（前期:1, 後期:2）		1
必修/選択	：（必修:1, 選択必修2, 選択:3）		1
授業形態	：（講義:1, 実験・実習:2, 演習:3）		1

項目A：授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由：	基礎的事項（高校の復習、微分の基礎概念）に時間を割いたため。		

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由：			

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由：		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由：		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	-
	レポート	-
	試験	
	試験の解答	
答案	-（自分で保存）	

項目B：成績と達成度

Q1: 履修者数	68	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	4	人
Q4: 受験者数	64	人
Q5: 不合格者数	19	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	17.2%	(%)
A	15.6%	(%)
B	20.3%	(%)
C	12.5%	(%)
D	4.7%	(%)
E	29.7%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	3
理由：	A+が17%あり、53%はB以上であった。一方で、E（不可）も30%あり、学生が2グループに分かれた印象がある。		

項目C:授業点検の方法

Q1:指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列举して下さい:	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の単元毎に重要な点を示している。 ・講義の最後に30分程度演習を行っている。その日学習したことはその場で身につけようという配慮である。 ・授業評価の時に、この講義のいいところ、直すべき所を書いてもらい、改善に取り入れている。

Q5:点検方法の問題・課題があれば列举してください

問題・課題を列举して下さい:	<ul style="list-style-type: none"> ・生の声を重視すべき
----------------	--

項目D:点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列举してください

(指摘事項その1)

点検結果:	演習を増やして欲しい
-------	------------

改善点:	各時間の終わりに演習を取り入れた。
------	-------------------

改善の効果・達成度:	・その場で理解する上で効果が会った。学生の評価もよい。
------------	-----------------------------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2:H15年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列举してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8 月 30 日	
授業名	都市システム工学序論	(全体:1, 分担:2) 2
担当教官名(全員)	三村、安原、横山、呉、福沢、山形、小柳、沼尾	記入者名 沼尾達弥
前後期別 : (前期:1, 後期:2)		1
必修/選択 : (必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態 : (講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進行したか

1 進行した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	(担当によって)
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	66	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	0	人
Q4: 受験者数	64	人
Q5: 不合格者数	2	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	9.1%	(%)
A	77.3%	(%)
B	10.6%	(%)
C	0.0%	(%)
D	0.0%	(%)
E	3.0%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由:	

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
----------------	---

実施していない理由：	
------------	--

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
-----------------------------	---

役立たない理由：	
----------	--

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
-----------	---

工夫を列挙して下さい：	各担当で実施(担当の点検参照)
-------------	-----------------

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい：	
----------------	--

項目D:.点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果：	特になし
-------	------

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

Q2:H16年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果：	授業全体の進め方としては適当であると考えられる。
-------	--------------------------

改善点：	各担当の点検表による
------	------------

(指摘事項その2)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年8月30日		
授業名	物理学	(全体:1, 分担:2)	
担当教官名(全員)	呉 智深	記入者名	呉 智深
前後期別	: (前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	: (必修:1, 選択必修2, 選択:3)		
授業形態	: (講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	1
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	69	人
Q2: 取止者数		人
Q3: 欠試者数		人
Q4: 受験者数	69	人
Q5: 不合格者数	11	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	4.3%	(%)
A	11.6%	(%)
B	23.2%	(%)
C	27.5%	(%)
D	17.4%	(%)
E	15.9%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由:	

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	?
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	
工夫を列挙して下さい:	授業後、学生の声を時々聞いた。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	授業の能動的な勉強手法と内容の深さと広さへの展開に関する教師の狙いと工夫を理解しようとせず、単純に分かりやすさで教師に要求することやらくに勉強することを誘導していく可能性があるように思う。例えば、学んで思わざれば則ちらく、思いて学ばざれば則ちうたがうという勉強手法の試行は不可能になっている現状に苦悩している。 授業評価は該当授業の到達度、到達すべきレベル、活用能力の向上程度と関連付けられていないように思う。
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1) 今年度からの担当であるので該当なし

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	説明が分かりづらいという意見があった。
-------	---------------------

改善点:	パワーポイントを利用してビジュアルな説明を取り入れる。 問題の展開、思考力の養成に関する工夫方法を改善するとともに、それに対する要求を少し緩めることにする。その代わりに基本の部分の説明と演習を時間をかけて行う。
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	板書がやや不適切との指摘があった。
-------	-------------------

改善点:	パワーポイントを活用する。
------	---------------

授業点検改善表

添付資料（下表(全A4 2 ページ)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください）
出席簿、成績原簿、授業評価アンケート分析結果、成績評価の方法（詳細）

記入日	平成16年8月27日	
担当教官名	佐々木正祥	
授業名	図学	
前後期別	：（前期:1,後期:2）	1
必修/選択	：（必修:1,選択必修:2,選択:3）	3
授業形態	：（講義:1,実験・実習:2,演習:3）	1,3

項目A：授業とシラバスとの整合性

Q1:授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由：	

Q2:成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由：	

Q3:出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由：	

Q4:成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由：	

Q5:資料は保存しているか

保存しているものに をつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B：成績と達成度

Q1:履修者数	66	
Q2:取止者数	3	
Q3:欠試者数	4	
Q4:受験者数	62	
Q5:不合格者数	0	
Q6:成績分布を比率でお答え下さい		
	A+	14%
	A	40
	B	32
	C	8
	D	6
	E	0
	合計	100(%)

Q7:授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由：	シラバスの内容を消化し、学生の作図性能が向上した。

項目C：授業点検の方法

Q1:指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由：	

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1役に立った 2ある程度役に立った 3役立たない	2
役立たない理由:	

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか

1ある 2ない	1
工夫を列挙して下さい:	毎回必ず作図演習の宿題を出し、評価返却した。

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	中間アンケートは記名式で回収率91%を得たが、期末は無記名式であったため回収率が67%に止まった。学生の知的レベルが年々低下している。
----------------	---

項目D:.点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してく

(指摘事項その1)

点検結果:	学生の理解度が低い。
-------	------------

改善点:	楕円コンパス、双曲線コンパス、サイクロイドコンパス及び紙模型の作成使用。
------	--------------------------------------

改善の効果・達成度:	学生の理解度が若干向上した。
------------	----------------

(指摘事項その2)

点検結果:	学生の作図技能が低い。
-------	-------------

改善点:	毎回文字練習及び作図演習の手本を配布、宿題を出し、評価返却した。
------	----------------------------------

改善の効果・達成度:	学生の文字及び作図技能の向上が認められた。
------------	-----------------------

(指摘事項その3)

点検結果:	授業中の居眠り及び点呼後の途中退席者が散見され、また、私語が絶えない。
-------	-------------------------------------

改善点:	授業時間を昨年までの午後から午前中に繰り上げた。
------	--------------------------

改善の効果・達成度:	授業中の居眠り及び点呼後の途中退席者は減少したが、私語は根絶できなかった。
------------	---------------------------------------

Q2:H15年度後期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	昨年度の指摘事項は上記項目に示す。授業は前期のみで後期にはない。
-------	----------------------------------

改善点:	
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8 月 18 日		
授業名	応用数学I	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	榊原暢久	記入者名	榊原暢久
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	<input type="radio"/>
	出席簿	<input type="radio"/>
	成績	<input type="radio"/>
	成績評価方法	<input type="radio"/>
	レポート課題	
	レポート	
	試験	<input type="radio"/>
	試験の解答	<input type="radio"/>
答案	<input type="radio"/>	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	82	人
Q2: 取止者数	8	人
Q3: 欠試者数	3	人
Q4: 受験者数	71	人
Q5: 不合格者数	12	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	4.2%	(%)
A	12.6%	(%)
B	31.0%	(%)
C	15.4%	(%)
D	20.0%	(%)
E	16.8%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由:	ほぼシラバスの予定通りの授業が出来た。また、7割近い学生が6割以上の理解を示した。

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	中間アンケートの結果と対応について、直後の講義中に学生に説明する。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	学生にアンケートを課すのであれば、その結果及び改善策の公表をすべきと考える。
----------------	--

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	黒板で演習をやってもらう人数を6人以下に制限したが、半期で全員に問題をやってもらうことが出来ない。
-------	---

改善点:	結果的に予習・復習時間の増加に繋がるような有効な課題の与え方を模索する。全員にそのような課題を課すことによって、黒板で問題をやらない学生もフォローする。
------	--

改善の効果・達成度:	ある程度有効だった。
------------	------------

(指摘事項その2)

点検結果:	授業進度や説明が少し速い。
-------	---------------

改善点:	説明の方法、講義の進め方を工夫することにより時間を有効に使う。
------	---------------------------------

改善の効果・達成度:	まだ改善の余地がある。
------------	-------------

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	上のその2と同じ
-------	----------

改善点:	上のその2と同じ
------	----------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 9月 1日		
授業名	建設工学演習I	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	呉智深、安原一哉、三村信男		記入者名 三村信男
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		3

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	3
異なった理由:	演習の科目であったが、講義を行った時間があつた。3つの科目の間で十分意思統一が図れなかった。

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なつたか

1 行なつた 2 少し異なった 3 かなり異なった	2
異なった理由:	上と同じ

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかつた理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	各自保存
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	各自保存
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	78	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	13	人
Q4: 受験者数	65	人
Q5: 不合格者数	15	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	3.0%	(%)
A	18.5%	(%)
B	20.0%	(%)
C	17.0%	(%)
D	18.5%	(%)
E	23.0%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	3
理由:	演習の趣旨が十分生かされず、学生の満足度が低い。

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10点満点で数値評価してもらった ・ この科目のいい点と直すべき点を書いてもらった ・ 中間アンケートを実施しなかったのは問題であった。していれば、問題点を早めにつかめた。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	担当者3名それぞれに対する評価が必要である
----------------	-----------------------

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: H15年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	演習を行って欲しい
-------	-----------

改善点:	演習中心の授業にする
------	------------

(指摘事項その2)

点検結果:	成績評価を試験だけにしないで欲しい。できれば試験をやめて欲しい。
-------	----------------------------------

改善点:	成績評価を改めて、演習への参加や課題提出を加味する
------	---------------------------

授業点検改善表

添付資料（下表(全A4 2 ページ)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください）
出席簿、成績原簿、授業評価アンケート分析結果、成績評価の方法（詳細）

記入日	平成16年8月27日
担当教官名	小柳（担当分）
授業名	都市システム工学製図
前後期別	：（前期:1,後期:2） 1
必修/選択	：（必修:1,選択必修:2,選択:3） 1
授業形態	：（講義:1,実験・実習:2,演習:3） 2

項目A：授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由：	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由：	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由：	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由：	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものに をつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	なし
	試験の解答	なし
	答案	なし

項目B：成績と達成度

Q1: 履修者数	67
Q2: 取止者数	0
Q3: 欠試者数	3
Q4: 受験者数	64
Q5: 不合格者数	5

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	16 (%)
A	38 (%)
B	28 (%)
C	11 (%)
D	0 (%)
E	7 (%)
合計	100 (%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由：	この授業では、6つの課題(作品数7)というかなりハードな演習を行うとともに、参考となる作品事例資料を配布・紹介した。その結果、課題の提出物の仕上がりが良い作品が多かったこと、授業評価結果からも、この授業の最大のねらいである「技術と知識の向上」に比較的良好な評価があったことから授業のねらいは達成されたと判断できる。

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか

1 ある 2 ない	
工夫を列挙して下さい:	中間授業評価を実施している。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	特になし
----------------	------

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してく;

(指摘事項その1)

点検結果:	・製図事例のトレースを主体とする授業内容の趣旨があまり理解されないところがあった。
改善点:	・授業の開始時に、トレースを通じて理解すべき点と技術的向上の目標レベルについてよく説明し、授業の趣旨を理解できるようにした。また、テキスト以外の作品事例の紹介と資料配布に心がけた。
改善の効果・達成度:	・授業のねらいの達成度で述べたように、課題の提出作品および授業評価結果をみると、改善の効果は大きかったと判断できる。

Q2: H15年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	・今年度は、パワーポイントや参考資料によって課題説明や製図事例の説明を行ったが、授業評価の結果を見ると、そのわかりやすさにまだ改善の余地がある。
改善点:	・来年度は、授業中に学生の理解度を質問などによって確認するゆとりを持った授業進度を工夫する。

(指摘事項その2)

点検結果:	・中間授業評価の結果をみると、自習時間が必要との意見が多数を占めたが、有効に使えなかった学生も多かった。
改善点:	来年度は、自習室(製図室)の確保と効率的な使用の指示など、学生が自習時間を有効に使う動機づけを行う。

平成16年度前期 授業点検改善表

下表(A4両面)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください)

シラバス 点検表(この表) 出席簿 成績原簿 成績評価の方法(詳細) 授業評価アンケート分析結果

記入日	平成16年8月13日		
授業名	土の力学	(全体:1, 分担:2)	
担当教官名(全員)	安原一哉	記入者名	安原一哉
前後期別	(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態	(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進行した 2 少し異なった 3 かなり異なった	2
異なった理由:	ビデオ見せる時間を取っていなかった

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	2
異なった理由:	基礎事項を繰り返した、編微分方程式の話に時間をとった

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	66	人
Q2: 取止者数	1	人
Q3: 欠試者数	4	人
Q4: 受験者数	61	人
Q5: 不合格者数	23	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	8.0%	(%)
A	13.0%	(%)
B	20.0%	(%)
C	20.0%	(%)
D	20.0%	(%)
E	39.0%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由:	不合格者が多い点を克服する必要がある

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	1. 中間アンケートをおこなった 2. ビデオ鑑賞をおこなってテスト(クイズ)をおこなった

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	中間試験が出来る時間が欲しい 建設工学演習 との整合を考えなければならない
----------------	--

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	PPT使用について評判が悪かった
-------	------------------

改善点:	分りやすく、読みやすくなるようくふうした 使ったPPTのコピーを配った
------	--

改善の効果・達成度:	今度は板書に対する苦情が目立った
------------	------------------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: H15年度後期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	PPT使用について評判が悪かった PPTを分りやすく、読みやすくなるようくふうした 使ったPPTのコピーを配った
-------	--

改善点:	
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 9月 1日		
授業名	上下水道工学	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	神子 直之		記入者名 神子 直之
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		2
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	無し
	レポート	無し
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	79	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	6	人
Q4: 受験者数	73	人
Q5: 不合格者数	2	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	21.9%	(%)
A	21.9%	(%)
B	21.9%	(%)
C	16.4%	(%)
D	15.1%	(%)
E	2.7%	(%)
合計	99.9%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由:	

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	中間評価を行った。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	テキスト参照と板書はかりでイメージがつかみにくい
-------	--------------------------

改善点:	スライドを用意する。
------	------------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

(7)自己点検表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。(両方とも福澤まで)

記入日	平成16年 8月 30日		
授業名	T7609 土木計画論	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	金 山田 小柳	記入者名	山田
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進行した	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	担当教官の健康上の理由で、急遽授業担当を交替したため		

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものをつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	79	人
Q2: 取止者数	6	人
Q3: 欠試者数	1	人
Q4: 受験者数	72	人
Q5: 不合格者数	23	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	0.0%	(%)
A	5.6%	(%)
B	15.3%	(%)
C	25.0%	(%)
D	22.2%	(%)
E	31.9%	(%)
合計		(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	3
理由:	昨年と同様、単位を取得できなかった学生が多かった		

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	2
工夫を列挙して下さい:	

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	学生が意見を述べる機会がほとんどなかった
-------	----------------------

改善点:	土木計画論演習での課題になるべく即した説明を行い、土木計画論演習の中で具体的な議論を引き出せるように配慮した
------	--

改善の効果・達成度:	昨年に比べて「参加する機会がやや多い・非常に多い」が増えたが、上記の効果であるかは確実ではない
------------	---

(指摘事項その2)

点検結果:	担当が初回であったため、講義資料の場当たりの配布があり、予習回数に不便であった。これがわかりにくさの一員と思われる。
-------	--

改善点:	講義資料の事前配布(すくなくとも予習できるよう)を行った。内容の改善については、担当者の交代もあり実施できなかった
------	---

改善の効果・達成度:	教科書レベルの資料の配付だけでは予習の効果は上がらなかったと思われる。内容の改善が必要である
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	予習復習の時間が少ない / 理解が悪い
-------	---------------------

改善点:	より意欲を持たせるよう、扱う事例などを工夫する / 予習に使える自習用資料の配布を検討する / 土木計画論の曜日を変えて予習復習にチェックがかけられるよう工夫する
------	---

(指摘事項その2)

点検結果:	シラバスどおりに進まなかった
-------	----------------

改善点:	担当者の交代が必要な場合には、なるべく事前に調整する
------	----------------------------

平成16年度前期 授業点検改善表

(7)自己点検表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。(両方とも福澤まで)

記入日	平成16年 8月 30日		
授業名	T7628 土木計画論演習	全体:1, 分担:	1
担当教官名(全員)	山田	記入者名	山田
前後期別	: (前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	: (必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態	: (講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進行した	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	学期初めに担当教官が急遽交替になったことに加え、途中で土木計画論が休講で滞ったため、それとの関係で変更した		

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答	
答案		

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	76	人
Q2: 取止者数	4	人
Q3: 欠試者数	2	人
Q4: 受験者数	72	人
Q5: 不合格者数	23	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	0.0%	(%)
A	28.6%	(%)
B	41.4%	(%)
C	20.0%	(%)
D	7.1%	(%)
E	2.9%	(%)
合計		(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	2
理由:			

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	前半グループワークについては、毎回、小レポートを行って、学生の授業への積極性と理解度を把握している

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	演習1コマで行う作業が良く理解できない
-------	---------------------

改善点:	講義時間を増やし、毎回の作業と、関連する知識との関係を明確に教える
------	-----------------------------------

改善の効果・達成度:	本授業のなかでの講義の部分を増やしてみたが、直前の土木計画論の講義につづくため、学生の反応はあまりよくなかった。
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	評価項目(重みなど)を最初に教えて欲しい。
-------	-----------------------

改善点:	事例調査、グループワークの発表会において、実施前に評価項目を伝えた
------	-----------------------------------

改善の効果・達成度:	本年度は特段の指摘はなかった
------------	----------------

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	全般的に評価が低い項目がある / 昨年度よりも全般に評価が低くなった
-------	------------------------------------

改善点:	教育目標Iに対応する学習方法についての理解を深める / 複数教員による体制に戻す
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	昨年度の反省で講義の部分を増やした影響で、わかりにくいの評価が増えた
-------	------------------------------------

改善点:	演習中心に形態に戻し、土木計画論との連携で対応する、また、土木計画論と開講曜日を変えることを検討する
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年8月30日		
授業名	構造力学	(全体:1, 分担:2)	
担当教官名(全員)	呉 智深	記入者名	呉 智深
前後期別	: (前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	: (必修:1, 選択必修2, 選択:3)		
授業形態	: (講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい。レポートを保存しなかった理由: 返却した。	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	×
	試験	
試験の解答		
答案		

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	98	人
Q2: 取止者数		人
Q3: 欠試者数	3	人
Q4: 受験者数	98	人
Q5: 不合格者数	41	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	2.0%	(%)
A	6.1%	(%)
B	12.2%	(%)
C	17.3%	(%)
D	20.4%	(%)
E	38.8%	(%)
欠	3.1%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由:	

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	授業評価の中間アンケートを実施した。 授業後、学生の声を時々聞いた。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	授業の能動的な勉強手法と内容の深さと広さへの展開に関する教師の狙いと工夫を理解しようとせず、単純に分かりやすさで教師に要求することやらくに勉強することを誘導していく可能性があるように思う。例えば、学びて思わざれば則ちらく、思いて学ばざれば則ちうたがうという勉強手法の試行は不可能になっている現状に苦悩している。 授業評価は該当授業の到達度、到達すべきレベル、活用能力の向上程度と関連付けられていないように思う。
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	説明が分かりづらいという意見があった。
-------	---------------------

改善点:	パワーポイントを利用してビジュアルな説明を取り入れた。 進度を少し遅くした。
------	---

改善の効果・達成度:	授業内容の理解度はある程度改善できたように思う。
------------	--------------------------

(指摘事項その2)

点検結果:	板書がやや不適切との指摘があった。
-------	-------------------

改善点:	パワーポイントを活用した。
------	---------------

改善の効果・達成度:	最低限の板書を活用するという講義方針の関係で、努力したつもりであったが改善の効果は学生に認められていない状態にある。
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	依然として説明が分かりづらいという意見があった。
-------	--------------------------

改善点:	進度を調整する。 問題の展開、思考力の養成に関する工夫方法を改善するとともに、それに対する要求を少し緩めることにする。その代わりに基本の部分の説明と演習を時間をかけて行う。
------	---

(指摘事項その2)

点検結果:	板書はやや不適切との指摘があった。
-------	-------------------

改善点:	苦慮しているところであるが、学生との対話を行いながら問題点の所在を見出す。
------	---------------------------------------

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 9月 1日		
授業名	水理学I	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	三村信男		記入者名 三村信男
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	2
異なった理由:	基礎的事項(静水刀字、ヘルメーイの定理)に時間を割いたため。

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	(試験回答書)
	レポート課題	-
	レポート	-
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	79	人
Q2: 取止者数	2	人
Q3: 欠試者数	6	人
Q4: 受験者数	71	人
Q5: 不合格者数	16	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	10.0%	(%)
A	18.3%	(%)
B	21.1%	(%)
C	22.5%	(%)
D	5.6%	(%)
E	22.5%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由:	ほぼ半数が試験でC以上の成績を取った。

項目C:授業点検の方法

Q1:指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役に立たない	2
役に立たない理由:	評価項目が多く、明確な結果が出てこない。

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の単元毎に重要度(A,B,C)を示している。学生からは理解や復習がしやすいという評価がある。 ・中間評価、期末評価の時に、授業を10点満点で評価してもらっている。今年度は平均7.8だった。昨年より上がり、目標の8点に近づいた。 ・授業評価の時に、この講義のいいところ、直すべき所を書いてもらい、改善に取り入れている。

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	<ul style="list-style-type: none"> ・項目が多すぎる ・評価が定性的。数値評価を取り入れるべし ・生の声を重視すべき
----------------	--

項目D:点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	演習を増やして欲しい
-------	------------

改善点:	各時間の終わりに演習を取り入れた。
------	-------------------

改善の効果・達成度:	・その場で理解する上で効果が会った。学生の評価もよい。
------------	-----------------------------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2:H15年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	・演習と模範解答をさらに重視して欲しい
-------	---------------------

改善点:	・そのようにする
------	----------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8 月 30 日	
授業名	都市システム工学ゼミナール A	(全体:1, 分担:2) 1
担当教官名(全員)	沼尾達弥	記入者名 沼尾達弥
前後期別 : (前期:1, 後期:2)		1
必修/選択 : (必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態 : (講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	2
異なった理由:	現場見学の日程が、相手先の都合により決まるため、講義の順番に変更が生じた。

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	15	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	0	人
Q4: 受験者数	15	人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	60.0%	(%)
A	26.7%	(%)
B	13.3%	(%)
C	0.0%	(%)
D	0.0%	(%)
E	0.0%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由:	

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
----------------	---

実施していない理由：	
------------	--

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
-----------------------------	---

役立たない理由：	
----------	--

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
-----------	---

工夫を列挙して下さい：	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識を得るために、文献の輪読を中心に行ったが、学生同士の討論の場を設けてほしいとの要望があり、テーマを設けて討論の機会を作った。 ・輪講による基礎知識と、現場見学による体験を結びつけることを試みた。
-------------	---

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい：	
----------------	--

項目D:.点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果：	昨年度は、担当でなかった。
-------	---------------

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

Q2:H16年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果：	ほぼねらい通りゼミが出来た。
-------	----------------

改善点：	現状を維持する。
------	----------

(指摘事項その2)

点検結果：	見学先と学生の都合が合わず、一部の学生が見学に参加できない場合もあった。
-------	--------------------------------------

改善点：	事前の日程調整を十分に行う必要がある。
------	---------------------

平成16年度前期 授業点検改善表

下表(A4両面)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください)

シラバス 点検表(この表) 出席簿 成績原簿 成績評価の方法(詳細) 授業評価アンケート分析結果

記入日	平成16年 8 月 27 日	
授業名	主題別ゼミナール b	(全体:1, 分担:2) 1
担当教官名(全員)	井上涼介(aの沼尾先生と並行して授業を行った)	記入者名 井上涼介
前後期別	(前期:1, 後期:2)	1
必修/選択	(必修:1, 選択必修2, 選択:3)	2
授業形態	(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)	1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	最新の研究成果を取り込んだため。		

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	最終回を「研究発表会」とし、この重みを0.4(40%)と大きくしたため。		

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	13	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	0	人
Q4: 受験者数	0	人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	3(23.1%)	(%)
A	1(7.7%)	(%)
B	8(61.5%)	(%)
C	1(7.7%)	(%)
D	0(0%)	(%)
E	0(0%)	(%)
合計	13(100%)	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	2
理由:	3年生5名(高専からの編入生)はかなり深く課題を理解していた。2年生(9名)は、全般に予備知識が不足しているため、課題の内容がやや高度すぎた。		

項目C:授業点検の方法

Q1:指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	2
工夫を列挙して下さい:	<p>教養科目授業アンケートを6月末に実施したので、板書の仕方、内容が高度すぎるなど、などに要望が集中したことが分かり、急遽、7月8日に重点事項を復習し、同15日に授業時の重要事項を纏めた問題集(レポートNo.3)を用意して、22日の研究発表の足場を作った。2年次の学生の一部から、「初めはよく分からなかったが、次第によく分かるようになり、とても面白くなった」とのコメントを頂いた(No.3の最後に”感想”として書き込み)ので、一定の効果はあったものと考えられる。</p>

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D:.点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2:本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	マークカードの裏に、「内容が高度すぎる」と書かれたものが2件あった(2年生と思われる)。
-------	--

改善点:	3万字などの予備知識が学生によって大きく異なる場合、予備知識の少ない学生に対しては、課題の出し方に工夫を持たせるなどの配慮が必要となる。2年生の場合は、専門科目の”動機付け”のみ意図するように心がける。
------	---

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8月 30日		
授業名	リモートセンシングおよび環境計測法	(全体:1, 分担:2)	2
担当教官名(全員)	小柳、神子、桑原		記入者名 桑原
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		2
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	道の駅現地調査が雨天のため順延となったため

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	111	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	10	人
Q4: 受験者数	101	人
Q5: 不合格者数	20	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	1.0%	(%)
A	15.8%	(%)
B	25.7%	(%)
C	22.8%	(%)
D	14.9%	(%)
E	19.8%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由:	

項目C:授業点検の方法

Q1:指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	中間アンケートを実施した。

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D:.点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	3分野に跨る勉強範囲の広さがきつい
-------	-------------------

改善点:	個別の教員毎に、勉強範囲を明示した
------	-------------------

改善の効果・達成度:	この点を指摘する学生の減少
------------	---------------

(指摘事項その2)

点検結果:	パワーポイントがみにくいく(板書をしてください)
-------	--------------------------

改善点:	両方を取り入れた
------	----------

改善の効果・達成度:	パワーポイントの指摘は減らさ(教室の問題有り) 101番教室はスクリーンが小さい
------------	---

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2:H15年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

下表(A4両面)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください)

シラバス 点検表(この表) 出席簿 成績原簿 成績評価の方法(詳細) 授業評価アンケート分析結果

記入日	平成16年 8月 XX日		
授業名	情報処理概論 プログラミング基礎	(全体:1, 分担:2)	2
担当教官名(全員)	山田稔・村上哲		記入者名
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	2
異なった理由:	繰返し計算の理解度が少なかったため、第4回でもその復習と繰返し計算講義を行った / 9回目の実施中に、必要な理解が不十分であったことがわかったため、特に変数の値の変化について講義を行い、11回目予定分を削除した

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	62	人
Q2: 取止者数	8	人
Q3: 欠試者数	3	人
Q4: 受験者数	51	人
Q5: 不合格者数	18	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	7.84	(%)
A	13.73	(%)
B	13.73	(%)
C	17.65	(%)
D	11.76	(%)
E	35.29	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由:	十分な理解に達さないまま課題を提出し、改善されないまま、不十分であるということが理解されないままになってしまった学生が少なからずいた。結果的には不合格となっていると思われる。

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	<p>毎回、授業の進め方についてコメントしてもらったその結果、学生の理解の状況を把握することができた</p> <p>また、音響やスクリーンについて感じている不便の改善、時間の使い方についての希望について反映させた</p>

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	出席回数など、回答した学生の属性・受講意欲別などでの分析が十分にできない
----------------	--------------------------------------

項目D: . 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	専門科目との関係を明示したことが、学生の積極性を引き出したものと考えられる(1年前期の情報処理)
-------	--

改善点:	前半の例題で、土地利用情報を扱うなどで配慮した
------	-------------------------

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: H15年度後期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	「配布資料が不十分」 / 「説明が難しい」
-------	-----------------------

改善点:	資料に頼らず、授業中のノートを充実させることを徹底して指導するようにする、また教科書・参考書を嫁雨量に指導する / 前回までの履修の理解を前提としている説明部分が「難しい」と感じるようであるが、そう答えた学生でも試験では期待した水準に到達している。教科書・参考書を使って効果的に各回の理解の確認ができるよう工夫する
------	---

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

(7)自己点検表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。(両方とも福澤まで)

記入日	平成16年 8月 30日		
授業名	T7638 計画数理	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	山田	記入者名	山田
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1+3

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	34	人
Q2: 取止者数	12	人
Q3: 欠試者数	1	人
Q4: 受験者数	21	人
Q5: 不合格者数	2	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	14.3%	(%)
A	33.3%	(%)
B	33.3%	(%)
C	4.8%	(%)
D	4.8%	(%)
E	9.5%	(%)
合計		(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由:	多くの学生が、十分な成績を修めた

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	レポートにより、学生の達成度を毎回確認している

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	テキストが「少しもの足りない」が35%程度あり、これをへらすことが2004年度の目標
改善点:	資料を2講義分ずつ配布するなど予習時に役に立つように工夫したとともに、事後に参考となる補足資料等を配布した
改善の効果・達成度:	17.65%へと減少しており、一方で前年は0であった「非常によい」がこれと同数あり、改善効果は見られたと言える

(指摘事項その2)

点検結果:	
改善点:	
改善の効果・達成度:	

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	評価が全般に向上した
改善点:	本年の評価の向上に影響したと考えられる改善点を、次年度も継続する

(指摘事項その2)

点検結果:	
改善点:	

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 9月 1日		
授業名	生態学	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	神子 直之、日置 佳之		記入者名 神子 直之
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	無し
	レポート	無し
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	64	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	5	人
Q4: 受験者数	58	人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	10.2%	(%)
A	40.7%	(%)
B	44.1%	(%)
C	3.4%	(%)
D	1.7%	(%)
E	0.0%	(%)
合計	100.1%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由:	

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	2
工夫を列挙して下さい:	

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

下表(A4両面)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください)

シラバス 点検表(この表) 出席簿 成績原簿 成績評価の方法(詳細) 授業評価アンケート分析結果

記入日	平成16年8月27日		
授業名	建築学概論	(全体:1, 分担:2)	2
担当教官名(全員)	藤野雅統 沼尾達弥		記入者名 藤野雅統
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進行した	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	一部の分野の講義内容が多少ふくらんでしまい、結果として他の分野に関する講義内容が手薄になってしまったかもしれない。		

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:	厳密なものではないが作成している。	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	(試験は実施しない)
	試験の解答	(試験は実施しない)
	答案	(試験は実施しない)

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	70	人
Q2: 取止者数	45	人
Q3: 欠試者数	0	人
Q4: 受験者数	25	人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	4.0%	(%)
A	24.0%	(%)
B	16.0%	(%)
C	16.0%	(%)
D	40.0%	(%)
E	0.0%	(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	2
理由:			

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	授業内容等について、職場関係その他および他大学の教員等との意見交換を行っている。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	全体からくる各回の講義内容の配分の結果、各回の講義密度に差が生じることがある。
-------	---

改善点:	講義密度のばらつきを押さえるよう講義内容を精査した。また、それにもなって全体の時間配分の微調整を行った。
------	--

改善の効果・達成度:	講義密度のばらつきはある程度平準化されたが、全体的に見ればやはり詰め込みすぎの感は否めない。
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	試験を行わず期末レポートによって成績評価を行っているが、インターネットその他からのあからさまなコピー&ペーストが目につく。
-------	---

改善点:	上記があまりにもあからさまな場合には大幅な減点あるいは不合格とする旨、課題用紙に明記するなどしてあらかじめ学生に伝え、主旨を周知徹底する。
------	---

改善の効果・達成度:	残念ながらめざましい改善は見られない。かといって分野的には図版等を用いた理解(レポート)が必須であるため、文字情報に偏らざるを得ない通常の試験で評価することには馴染みにくく、対応に苦慮している。
------------	---

Q2: H16年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	各回の講義内容に密度のばらつきがあるのではないかと。全体として詰め込みすぎではないかと。
-------	--

改善点:	全体および各回の講義内容の精査。全体に関しては「間口」の、各回に関しては「深さ」の、それぞれ再確認。全体時間の制限からして「広く浅く」であることは致し方ないとしても、しかしややもすると「雑学」「よもやまばなし」に堕してしまう。その見切り方。
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

(7)自己点検表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。(両方とも福澤まで)

記入日	平成16年 8月 30日		
授業名	T7653,T7666 都市システム工学トピックスI,II	(全体:1,分担:2)	1
担当教官名(全員)	山田 桑原 村山祐司(担当 桑原) 深田園子(担当 小峯)		記入者名 山田
前後期別	:(前期:1,後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1,選択必修2,選択:3)		3
授業形態	:(講義:1,実験・実習:2,演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	講義内容はシラバス締切に間に合わないため、開講時に通知した

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	ただし個々の非常勤教官の判断による部分が大きい

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	51	人
Q2: 取止者数	20	人
Q3: 欠試者数	0	人
Q4: 受験者数	31	人
Q5: 不合格者数	1	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	3.2%	(%)
A	32.3%	(%)
B	38.7%	(%)
C	16.1%	(%)
D	6.5%	(%)
E	3.2%	(%)
合計		(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由:	各担当教官からおおむね全員が合格の評価を得ており、ねらいは達成できた

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	<p>提出されたレポートの中で、授業の進め方に対する意見があれば、総括担当が把握する</p> <p>5回程度であるため、通常の「中間」としての評価よりも、毎回の授業に対して学生の反応を把握するよう努めている</p> <p>記述は、講義が意義があったなど肯定的なものが多く、具体的な改善提案等はみられなかった</p>

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: . 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	学外の実務者とのコミュニケーションを高めることが授業の目的の一つであるにも関わらず、「先生に質問して理解した」が少ない
-------	---

改善点:	非常勤の教官との質疑の時間を取るよう工夫を依頼する
------	---------------------------

改善の効果・達成度:	今年度は20.69%と、学科全平均よりは多く、授業の効果はあると考えられるが、一層充実するようにしたい
------------	---

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	シラバスとの相違があるという指摘が多い
-------	---------------------

改善点:	上述のように実際のカリキュラムが掲載にまにあわないことが影響していることに加え、講師の都合により日程調整が円滑でなかったことが反省点である。来年度は講師依頼作業がより円滑に進むよう力を入れる必要がある
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8月 23日		
授業名	鋼構造および橋梁工学	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	横山 功一	記入者名	横山 功一
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進行した	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	<input type="radio"/>	成績評価に用いないため、コメントをつけて返却した
	出席簿	<input type="radio"/>	
	成績	<input type="radio"/>	
	成績評価方法	<input type="radio"/>	
	レポート課題	<input type="radio"/>	
	レポート	一部保存	
	試験	<input type="radio"/>	
	試験の解答 答案	<input type="radio"/>	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	67	人
Q2: 取止者数	10	人
Q3: 欠試者数	0	人
Q4: 受験者数	57	人
Q5: 不合格者数	1	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	3.5%	(%)
A	22.8%	(%)
B	38.6%	(%)
C	29.8%	(%)
D	3.5%	(%)
E	1.8%	(%)
合計	100.0%	(%)

4名は過年度生であり、成績評価基準が異なるがそのまま集計した。

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	1
理由:			

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	具体的な改善に結びつくようなアンケートになっていない。

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	自由記述式の中間アンケートを実施し、結果を説明するとともに、指摘事項に対する改善を図った。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その 1)

点検結果:	説明が早すぎる。
-------	----------

改善点:	授業内容が、網羅的になっている部分があり、焦点を絞るようにする。
------	----------------------------------

改善の効果・達成度:	アンケートでは改善されたと受け止められる。
------------	-----------------------

(指摘事項その 2)

点検結果:	どうも、よく分かっていないふしがある。
-------	---------------------

改善点:	表面的な話でなく、なぜそのような話がでてくるのかまで含めて講義をする。
------	-------------------------------------

改善の効果・達成度:	期待したほど改善が見られなかった。まだ、不徹底かもしれない。
------------	--------------------------------

(指摘事項その 3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: H15年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その 1)

点検結果:	アンケートや試験結果から見ると、授業内容の理解度、授業の効果の面で不十分となっている。
-------	---

改善点:	教材やテーマの改善を図る。
------	---------------

(指摘事項その 2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

下表(A4両面)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください)

シラバス 点検表(この表) 出席簿 成績原簿 成績評価の方法(詳細) 授業評価アンケート分析結果

記入日	平成16年 8 月 27 日		
授業名	地震および振動工学	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	井上涼介		記入者名 井上涼介
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		2
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	3
異なった理由:	JABEE受審に対応するように、教科書をより詳しく新しいトピックスが盛り込まれているものに変更した。

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	3
異なった理由:	期末試験の成績が予想以上に悪かったため、期末試験の重みをより小さくした。

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものをつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	36	人
Q2: 取止者数	12	人
Q3: 欠試者数	2	人
Q4: 受験者数	22	人
Q5: 不合格者数	8	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	0(0%)	(%)
A	1(4.5%)	(%)
B	6(27.3%)	(%)
C	3(13.6%)	(%)
D	4(18.2%)	(%)
E	8(36.4%)	(%)
合計	22(100%)	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	3
理由:	構造力学の関連事項を十分に習得していることを前提としたが、認識が甘かった。

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	こちらの努力を過小に評価している学生が結構居る。

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列举して下さい:	数学・物理学的な背景について、詳しい補足ノートを毎回用意し、コピーを配布した。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列举してください

問題・課題を列举して下さい:	
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列举してください

(指摘事項その1)

点検結果:	数学・物理学の基礎力が不足している。
-------	--------------------

改善点:	数学・物理学的な背景について、詳しい補足ノートを毎回用意し、コピーを配布した。
------	---

改善の効果・達成度:	ただ説明しただけでは(演習を伴わないと)、身につみにくいことが分かった。
------------	--------------------------------------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列举してください

(指摘事項その1)

点検結果:	構造力学の関連知識が十分に習得されていない。
-------	------------------------

改善点:	授業時後半に小テストを何回も行い、身につけさせる(レポートでは、他人のものを丸写しをする者が多いため、効果が上がらない)。授業内容も、思い切って"基本的"なものだけに絞る。
------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	本講義に関連した数学ミニマムの出題範囲の基礎事項(固有値問題、微積分など)が身についていない。
-------	---

改善点:	授業開始時に、本授業との関連を詳しく説明し、必要部分を授業に並行して復習させる。小テストも行う。
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8月 30日		
授業名	都市システム設計演習	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	山形、小柳、山田、桑原		記入者名 桑原
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		3

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	道の駅現地調査が雨天のため順延となったため		

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	73	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	0	人
Q4: 受験者数	73	人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	0.0%	(%)
A	56.2%	(%)
B	43.8%	(%)
C	0.0%	(%)
D	0.0%	(%)
E	0.0%	(%)
合計	0.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	1
理由:			

項目C:授業点検の方法

Q1:指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	演習時のメモ提出に、意見を書いてもらう(中間アンケート的な扱いをしています) 演習時に指摘のあった内容で対処に値する内容は、次回演習で修正します

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D:.点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	演習時間内に実施する内容を明確にする
-------	--------------------

改善点:	演習開始時の説明後に繰り返して実音内容を説明 オス
------	------------------------------

改善の効果・達成度:	この点に関するアンケート裏面の指摘は無くなった
------------	-------------------------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2:H15年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	班編成を学生番号によらない方法にしてほしい
-------	-----------------------

改善点:	ランダムな班編成
------	----------

(指摘事項その2)

点検結果:	個人の評価が表にできるようにしてほしい
-------	---------------------

改善点:	個別課題の設定
------	---------

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8 月 30 日		
授業名	建設意匠	全体:1, 分担:	2
担当教官名(全員)	天、宮本、沼尾		記入者名 沼尾達弥
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものをつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数		人
----------	--	---

Q2:取止者数		人
Q3:欠試者数		人
Q4:受験者数	34	人
Q5:不合格者数	0	人

Q6:成績分布を比率でお答え下さい

A+	32.4%	(%)
A	47.1%	(%)
B	17.6%	(%)
C	2.9%	(%)
D	0.0%	(%)
E		(%)
合計	100.0%	(%)

Q7:授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	2
理由:			

項目C:授業点検の方法

Q1:指定された授業アンケートを実施しているか

1 している	2 していない	1
実施していない理由:		

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った	2 ある程度役に立った	3 役立たない	2
役立たない理由:			

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を)

1 ある	2 ない	2
工夫を列挙して下さい:		

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D:.点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙して
(指摘事項その1)

点検結果:	特になし(各担当の点検による)
-------	-----------------

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

(指摘事項その 2)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

(指摘事項その 3)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

Q2:H16年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その 1)

点検結果：	学生の評価も良く、ははならい通りであった
-------	----------------------

改善点：	現状の授業を維持する。
------	-------------

(指摘事項その 2)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8 月 30 日		
授業名	専門ゼミナール（コンクリート工学）	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	福澤公夫		記入者名 福澤公夫
前後期別	: (前期:1, 後期:2)	1	
必修/選択	: (必修:1, 選択必修2, 選択:3)	3	
授業形態	: (講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)	1	

項目A：授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	休みを予定日に入れたこと。海外出張のため。		

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行った	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	10回程度行う予定であったが、7回に留まった。演習の実施に時間を要するため。		

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものをつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B：成績と達成度

Q1: 履修者数	72	人
Q2: 取止者数	2	人
Q3: 欠試者数	6	人
Q4: 受験者数	64	人
Q5: 不合格者数	3	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	3.0%	(%)	2名
A	19.0%	(%)	11名
B	32.0%	(%)	19名
C	31.0%	(%)	18名
D	10.0%	(%)	6名
E	5.0%	(%)	3名
合計	100.0%	(%)	59名

Q7: 授業の狙いは達成されたか

過年度生を除く

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	2
理由:	成績C以上が、85%であり、大部分が授業を理解したから。昨年に比べると、生成は低下傾向である。受講者が多く、比較的熱心に聞いてくれた。		

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	1 中間授業評価を行ったことにより、学生の考える授業の良い点悪い点が明確となった。 2 進み方、資料を配ったことは好評であり、内容が多岐にわたることは、不評であった。 3 板書については、良いとするものと悪いとするものがあった。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	1 期末の評価項目は多すぎるのではないかと、学生が十分に考慮して書いているように見えない。
----------------	---

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	板書量が多い、および汚いという意見が多かった。
-------	-------------------------

改善点:	書くことは、重要であり、ある程度は、不評もやむを得ないと考えた。 板書は、書くことが記憶につながるとまた、ノートを見て授業の内容がわかるようにすることが学生の理解につながるものと信じていることから、不評であっても板書を行っている。そのため、板書を実施することは変わらないものの、きれいに書くこと、量を減らすことを考えた。また、授業の理解が進むよう演習を増やすこととした。
------	--

改善の効果・達成度:	昨年は、演習2回であったが7回実施した。また、分かり易いように図表を中心としたプリントを配布した。中間評価からわかったように、板書に、理解ある学生とそうでない学生がいる。板書は必要と考えているので、今後も続けるが、さらに分かり易いように演習回数の増加、適切な資料の配付を心がける。達成度70%
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	発表討論など学生の参加する機会が少ない。
-------	----------------------

改善点:	参加できるよう工夫する。
------	--------------

改善の効果・達成度:	演習を増やしたこと、試験等において、学生の判断を問う問題を入れた。 授業評価は、昨年度より若干好転したものの意見は変わらない。経験的事項を伝える授業であり、難しいとは思いますが、宿題の工夫による、何らかの対策をとりたい。達成度30%
------------	---

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: 本年度の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	全体として、ほぼ平均であるが、とくに良いという評価が、いずれにおいても少ない。
-------	---

改善点:	配付資料が理解に役立つと好評であるので、配付資料の充実と、パワーポイント、ビデオにより、視覚的に理解できるよう心がける。
------	--

(指摘事項その2)

点検結果：	発表討論など学生の参加する機会が少ない。
-------	----------------------

改善点：	話題性のある事項について、調査させる。
------	---------------------

(指摘事項その3)

点検結果：	授業の焦点がわかりにくい。
-------	---------------

改善点：	各種工法の意義を明確にするとともに工法間の位置づけを明らかにする。
------	-----------------------------------

授業点検改善表

添付資料（下表(全A4 2 ページ)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください）
出席簿、成績原簿、授業評価アンケート分析結果、成績評価の方法（詳細）

記入日	平成16年8月27日	
担当教官名	小柳武和	
授業名	空間設計	
前後期別	：（前期:1,後期:2）	1
必修/選択	：（必修:1,選択必修:2,選択:3）	3
授業形態	：（講義:1,実験・実習:2,演習:3）	1

項目A：授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由：	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由：	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由：	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由：	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものに をつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B：成績と達成度

Q1: 履修者数	7 0
Q2: 取止者数	0
Q3: 欠試者数	1 6
Q4: 受験者数	7 0
Q5: 不合格者数	5

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	1 0 (%)
A	2 4 (%)
B	2 3 (%)
C	2 3 (%)
D	1 3 (%)
E	7 (%)
合計	1 0 0 (%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由：	昨年度以上に、設計演習 と連動して行ったことと、今年度は、授業の復習を宿題の形で複数回行うとともに、コンセプトメイキング及び植再計画のレポート課題を課し、授業のねらいに対応した成果が得られたと考える。ただし、期末試験の結果を見ると、基礎的な知識の理解力不足の学生が2割いたことに改善の余地がある。

項目C:授業点検の方法

Q1:指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	中間授業評価を行い、その結果を学生に報告し、改善案を示した。

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	1
役立たない理由:	

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい:	授業中の板書やプロジェクター画像の見やすさの確認。

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	特になし
----------------	------

項目D:.点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	設計演習 の課題以外の内容に関しては、授業での説明不足があった。また、受講生の欠試者が多かった。
-------	--

改善点:	授業内容を設計演習 に連動した部分を増やし、授業でも宿題やレポート課題を課して復習による理解度を増した。
------	--

改善の効果・達成度:	宿題やレポート課題において、良い内容の提出者が多かった。そのことから、複数回の宿題やレポートで、設計演習の課題に対応できる力が付いたと判断される。
------------	---

Q2:H15年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	宿題や演習を増やしたが、授業評価結果を見ると、まだ、復習の時間が不十分であった。
-------	--

改善点:	演習課題を増やし、復習の機会をより増やす。
------	-----------------------

(指摘事項その2)

点検結果:	授業のわかりやすさと理解度にまだ改善の余地がある。
-------	---------------------------

改善点:	授業内容の吟味とともに、演習をより多く取り入れた授業方法に改善する。
------	------------------------------------

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8 月 28 日		
授業名	都市システム工学実験I	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	沼尾達弥・横木裕宗・神子直之(・伊佐治進・木村亨)		記入者名 横木裕宗
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		1
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		2

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	68	人
Q2: 取止者数	1	人
Q3: 欠試者数		人
Q4: 受験者数		人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	27.0%	(%)
A	73.0%	(%)
B		(%)
C		(%)
D		(%)
E		(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	2
理由:			

項目C:授業点検の方法

Q1:指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2:指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4:指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	2
工夫を列挙して下さい:	

Q5:点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	
----------------	--

項目D:.点検結果と改善

Q1:昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2:H15年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果:	実験の説明がよく分からないという指摘があった。
-------	-------------------------

改善点:	実験に入る前の説明時間を長めにとる。 事前に配布するレジユメをもっと詳しくする。 など。
------	---

(指摘事項その2)

点検結果:	レポートの書き方(特に考察)がよく分かっていない。
-------	---------------------------

改善点:	レポートの書き方について、もっと具体的な指示をする。
------	----------------------------

平成16年度前期 授業点検改善表

下表(A4両面)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください)

シラバス 点検表(この表) 出席簿 成績原簿 成績評価の方法(詳細) 授業評価アンケート分析結果

記入日	平成16年 8月 12日		
授業名	基礎地盤工学	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	小峯秀雄	記入者名	小峯秀雄
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	1
とらなかった理由:	

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	1
作成していない理由:	

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものをつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	なし
	レポート	なし
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	69	人
Q2: 取止者数	9	人
Q3: 欠試者数	4	人
Q4: 受験者数	56	人
Q5: 不合格者数	9	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	7.1%	(%)	人数	4
A	21.4%	(%)	12	
B	28.6%	(%)	16	
C	14.3%	(%)	8	
D	12.5%	(%)	7	
E	16.1%	(%)	9	
合計	100.0%	(%)	56	

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	1
理由:	A以上の評価点を取得した学生数が、全体の約30%である。これは、昨年度とほぼ同じであった。一方、不合格者は、昨年度21%から16%に低下していることから、狙いは達成されたと判断した。

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	解釈に悩む設問がある。

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列举して下さい:	昨年度と同様、地盤研所属の大学院生・4年生、構造研所属の4年生が自発的に受講してくれたので、毎回、どうだっかを聞き取り調査した。また、オフィスアワーに訪ねてきた受講生に感想を聞き講義での参考にした。中間アンケートも実施し、やや早口であるという指摘もあったので、後半の講義での参考にした。パワーポイントでの講義は、土のイメージを持つのに非常に役立つと言う意見が80%程度ある一方で、2~3名からはパワーポイントは分かりづらいと言う正反対の意見もあった。パワーポイントを活用した講義は、今後も引き続き行い、分かりにくくなるポイントを明らかにし、講義方法を工夫していきたい。

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列举してください

問題・課題を列举して下さい:	
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列举してください

(指摘事項その1)

点検結果:	基礎となる土の力学の事項について、復習としてレポートを課したが、思うように復習してもらえなかった。
-------	---

改善点:	レポート提出時に口頭試問も行うとともに、レポート提出と口頭試問を受けることを、期末試験の受験資格とした。
------	--

改善の効果・達成度:	不合格者数が減らせた理由の一つと考えられる。来年度も同様に行う。
------------	----------------------------------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: H16年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列举してください

(指摘事項その1)

点検結果:	2~3名であるがパワーポイントでの講義は分かりづらいという意見があった。
-------	--------------------------------------

改善点:	毎回の講義で、その回の講義のポイントを、冒頭で話すようにする。
------	---------------------------------

(指摘事項その2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

下表(A4両面)に、以下の資料を添付し、メールの返信とは別に提出ください)

シラバス 点検表(この表) 出席簿 成績原簿 成績評価の方法(詳細) 授業評価アンケート分析結果

記入日	平成16年 8 月 19 日		
授業名	数学解析 II	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	中本 律男	記入者名	中本 律男
前後期別	:(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	:(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	:(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった 2 少し異なった 3 かなり異なった	1
異なった理由:	

Q3: 出席はとっているか

1 とっている 2 とっていない	2
とらなかった理由:	受講生が少人数のため

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している 2 作成していない	2
作成していない理由:	大学の基準どおりに評価

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	33	人
Q2: 取止者数	0	人
Q3: 欠試者数	17	人
Q4: 受験者数	16	人
Q5: 不合格者数	3	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+	18.8%	(%)
A	46.2%	(%)
B	6.3%	(%)
C	6.3%	(%)
D	12.5%	(%)
E	18.8%	(%)
合計		(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された 2 ほぼ達成された 3 達成されていない	2
理由:	

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由:	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由:	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	2
工夫を列挙して下さい:	

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい:	少数でのアンケートは殆ど意味がないように思われる
----------------	--------------------------

項目D: .点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その 1)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その 2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

(指摘事項その 3)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

改善の効果・達成度:	
------------	--

Q2: H15年度後期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その 1)

点検結果:	分りにくいとの指摘があった
-------	---------------

改善点:	内容は難しくないが、計算力(積分)を要するので、来年度は少し時間をかけてみたい。
------	--

(指摘事項その 2)

点検結果:	
-------	--

改善点:	
------	--

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。（両方とも福澤まで）

記入日	平成16年 8 月 30 日		
授業名	土木行政	(全体:1, 分担:2)	2
担当教官名(全員)	横山、沼尾、三上、小峯		記入者名 沼尾達弥
前後期別	: (前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	: (必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	: (講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進化したか

1 進化した	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	1
異なった理由:			

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものをつけて下さい	授業ノート	(担当によつて)
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数		人
Q2: 取止者数		人
Q3: 欠試者数	0	人
Q4: 受験者数	10	人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+		(%)
A	30.0%	(%)
B	50.0%	(%)
C	20.0%	(%)
D		(%)
E		(%)
合計	100.0%	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	2
---------	-----------	------------	---

理由：	
-----	--

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している 2 していない	1
実施していない理由：	

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った 2 ある程度役に立った 3 役立たない	2
役立たない理由：	

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある 2 ない	1
工夫を列挙して下さい：	各担当者毎の報告による

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい：	
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果：	就職活動などで、欠席者や取り止め者が多い。
-------	-----------------------

改善点：	大学院進学希望者に受講を勧める。
------	------------------

改善の効果・達成度：	受講者の取り止めや欠席が多い状況に変わり無く、また、大学院進学者に対しても有効な対策となっていなかった。
------------	--

(指摘事項その2)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

Q2: H16年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果：	アンケート結果から、授業についての要望は特になかった。
-------	-----------------------------

改善点：	特に改善点はない。
------	-----------

(指摘事項その2)

点検結果：	就職活動等により、欠席・取り止めする学生が多い。
-------	--------------------------

改善点：	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の日程や時期を考慮する必要がある。 ・大学院進学者(特に推薦入学者)に強く働きかける。
------	---

平成16年度前期 授業点検改善表

この点検表をメールするほか、この点検表を含む「都市システム工学科における授業実施上の参考」の「授業記録の保存方法」を、メールの返信とは別に提出ください。(両方とも福澤まで)

記入日	平成16年 8月30日		
授業名	建築構造設計	(全体:1, 分担:2)	1
担当教官名(全員)	沼尾達弥	記入者名	沼尾達弥
前後期別	(前期:1, 後期:2)		1
必修/選択	(必修:1, 選択必修2, 選択:3)		3
授業形態	(講義:1, 実験・実習:2, 演習:3)		1

項目A: 授業とシラバスとの整合性

Q1: 授業内容は、シラバス通りに進行したか

1 進行した	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	出張とゼミなどによる学生の都合により、講義時間の変更があり 一部十分に説明が出来なかつた		

Q2: 成績評価は、シラバス通りに行なったか

1 行なった	2 少し異なった	3 かなり異なった	2
異なった理由:	講義時間の変更のため、試験の時間がとれず、試験に替えてレポートによる評価とした		

Q3: 出席はとっているか

1 とっている	2 とっていない	1
とらなかった理由:		

Q4: 成績評価基準は作成しているか

1 作成している	2 作成していない	1
作成していない理由:		

Q5: 資料は保存しているか

保存しているものにつけて下さい	授業ノート	
	出席簿	
	成績	
	成績評価方法	
	レポート課題	
	レポート	
	試験	
	試験の解答 答案	

項目B: 成績と達成度

Q1: 履修者数	22	人
Q2: 取止者数	15	人
Q3: 欠試者数	0	人
Q4: 受験者数	7	人
Q5: 不合格者数	0	人

Q6: 成績分布を比率でお答え下さい

A+		(%)
A	71.4	(%)
B	14.3	(%)
C	14.3	(%)
D	0.0	(%)
E		(%)
合計	100.0	(%)

Q7: 授業の狙いは達成されたか

1 達成された	2 ほぼ達成された	3 達成されていない	2
理由:			

項目C: 授業点検の方法

Q1: 指定された授業アンケートを実施しているか

1 している	2 していない	1
実施していない理由:		

Q2: 指定された授業アンケートは役に立ったか

1 役に立った	2 ある程度役に立った	3 役に立たない	2
役に立たない理由:			

役にない理由：

Q4: 指定外の授業点検の工夫はあるか (中間評価については、この欄を使用ください)

1 ある	2 ない	
		1
工夫を列挙して下さい：	中間アンケートを実施した。 理解を深めるために、授業中に例題等の演習を行った。	

Q5: 点検方法の問題・課題があれば列挙してください

問題・課題を列挙して下さい：	
----------------	--

項目D: 点検結果と改善

Q1: 昨年度までの点検結果と、改善点、改善の効果・達成度を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果：	就職活動により、欠席・取り止めする学生が多い。
-------	-------------------------

改善点：	なるべく学生の都合に合わせて、業時間の変更などを行う。
------	-----------------------------

改善の効果・達成度：	教員の都合と学生の都合が合わず、かえって混乱させてしまった。
------------	--------------------------------

(指摘事項その2)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

(指摘事項その3)

点検結果：	
-------	--

改善点：	
------	--

改善の効果・達成度：	
------------	--

Q2: H16年度前期の点検結果と、来年度の改善点を列挙してください

(指摘事項その1)

点検結果：	学生の評価もほぼ想定通りであった。
-------	-------------------

改善点：	同様の授業を維持する。
------	-------------

(指摘事項その2)

点検結果：	就職活動により、欠席・取り止めする学生が多い。
-------	-------------------------

改善点：	時間割通りに進めることを原則に、学生の出席可能な時間に集中して行う方法を併用する。
------	---